

第 216 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 5 年 6 月 28 日（水） 13：30～14：34

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：岡田教育長 杉野本委員 花田委員 岡山委員 倉本委員

事務局 草刈部長 藤井課長（代理：大坂図書館長） 永田担当課長
鳥居室長

書記：日ノ原係長 川村主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

いよいよ暑さが本格的になってきた。学校は 1 学期の総決算ということで、これから大変忙しい時期にさしかかると思う。そうした時期ではあるが、7 月には委員方と一緒に中学校の学校訪問を予定しているため、日程調整をしていただき、一緒に現場を見ていただければと思う。

それからこの 1 ヶ月、中体連関係の大会が開催され、今年から市の予選がなくなり、各競技が浜田ブロックや、あるいは西部のブロックという形で開催することになった。

またこちらの報告書にあるが、5 月 30 日の体操を皮切りに、浜田市では 7 日、8 日を中心に、野球、バスケットボール、サッカー、柔道が開催されている。

参加校のエリアが広がり、競い合う相手も増え、とてにぎやかな大会になったと思うが、逆に県大会へ勝ち抜くためのハードルが少し高くなった競技もあった。だが、切磋琢磨する意識を高め、日々の練習と向き合ってもらえれば、こうした取組は定着していき、良いことではないかと思う。激励に出かけてくださった委員方には、感謝を申し上げる。

それでは、続けて資料を見ていただきたい。

① 6月3日（土）三隅家と結ぶ三浦三家物語及び企画展（三隅まちづくりセンター）

6月3日に三隅家と結ぶ三浦三家物語及び企画展ということで、これは三隅氏の発祥800年を記念した講演会で、今三隅では、三隅氏発祥800年を祝う事業を1年通じてやろうと計画されている。この日の他にも、6月18日に、メインイベントの三隅氏発祥800年まつりが開かれたが、地域の皆さんで大変盛り上げていただいた。

このような身近な歴史を知り、次の世代に伝えていくということは、とても大切なことだと改めて感じた。

② 6月5日（月）全国市町村教育委員会連合会功労者表彰伝達（宇津 豊氏）

6月5日に、元教育委員の宇津豊さんが全国市町村教育委員会連合会功労者表彰を受けられ、伝達に伺った。とても元気そうであった。

③ 6月9日（金）島根県教育庁への要望活動（松江）

6月9日の島根県教育庁への要望活動についてだが、これは県知事と県教育長への要望活動であり、教育関係ではGIGAスクールの機器の更新がいずれ近い時期にくるため、その更新に対しての支援を国に働きかけてもらいたいということを要望に行った。県の方も高校を抱えているため同様の課題があり、引き続き国に働きかけをするという確認をさせていただいた。

④ 6月10日（土）高校生学芸員研究成果お披露目式（浜田城資料館）

6月10日に高校生学芸員による特別展が開催された。高校生が自ら調べたことを展示するような成果物にまとめきるということが大変だったと思う。あるいは、その過程でいろいろな気づきもあったのではないかと思うが、自分の言葉でその辺りのところをきちんと話してくれ、そういう感想を聞いて、こうして取り組む意義があったのではないかなと感じているところである。

⑤ 6月16日（金）6月議会開会（提案説明）

6月16日から浜田市議会定例会が始まり、7月3日までの会期である。

教育委員会関係は、今回特に議案はなかったが、後ほど報告

があると思うが、一般質問の中で、不登校の対応、給食費の無償化の考え方、文化財の指定と保護についての考え方、中央図書館が明る過ぎて本が色褪せていることについての考え方、こうした指摘などをいただき、さらに2030年に予定している島根かみあり国スポ・全スポについての環境整備についても問われたという状況である。

あとは、浜田幼稚園の中で幼児教育センターと通級指導教室を開所したが、その取組状況を聞きたいということで質問をされている。

⑥ 6月27日（火）市長表敬同席（浜田ろう学校・佐々岡希花）

6月27日、市長表敬に同席しているが、浜田ろう学校の生徒さんが、日本の卓球のユース大会を勝ち抜かれ、世界を舞台にした卓球大会に日本代表で出場されるということで、その活躍に期待をしたいと思っている。

以上がこの1か月を通じての活動報告になる。

文化もスポーツも、コロナでいろいろな制限がかかっていたものが、どんどん日常というか、以前のように戻りつつあると実感している。土曜日、日曜日のイベントが増えてきて、こうしたことが元に戻っているなど強く思った1か月であった。

これまでのところで、ご質問等があればお願いします。

特になし。

各委員

2 議題

(1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料1）

藤井課長

（代理：大坂館長）

浜田市立図書館協議会委員は教育委員会が任命することになっており、2年間の任期でお願いしている。今年は2年目になるため、昨年度の方が引き続いてということになるが、退職等があったため、資料に記載している3名の方に新しく委嘱したいと思い、議題として挙げている。

1番最初に犬塚先生だが、前任者の別枝行夫教授が退職され、まだ非常勤講師で県立大学におられるが、前期はオンライン授業で、後期にならないと大学へ来られないということで、これを機会に代わった方がいいということになり、新しくメディアセンターの図書館長になられた犬塚優司先生にお願いしたいと思う。

2人目の社会教育関係者だが、石見まちづくりセンターの虫谷氏が委員をされていたが、今回退職された。それに伴い、まちづく

りセンター合同連絡会から、浜田まちづくりセンターの野藤薫氏をお願いしたいと思う。

3人目だが、これは以前より浜田市PTA聯合会の会長をお願いしている。前年度は、第一中学校PTA会長の大谷海氏であったが、事務局が長浜小学校に移ったため、長浜小学校PTA会長の湯浅弘一氏をお願いしたいと思う。

この3名について、委嘱をお願いしたいと思う。

その下の改正される委員案の中、1番下の三田憲昭氏について、昨年度までは島根県立図書館の図書館支援課長をしておられたが、西部読書普及センターの所長に就任された。島根県立図書館に問い合わせをし、そのまま三田氏に委員になっていただくことになったため、ここでの改正には上げていない。

説明は以上である。

岡田教育長

ただいま浜田市立図書館協議会委員の委嘱についての提案があったが、委員方ご質問等はあるか。

よろしいか。

各委員

はい。

岡田教育長

では、事務局から提案のあったとおり委員を委嘱するということでよろしいか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

草刈部長

個人一般質問 通告一覧（令和5年6月浜田市議会定例会議）
（資料2-1）

令和5年6月定例会議（答弁準備原稿 個人一般質問用）（資料2-2）

資料2-1をご覧ください、6月定例市議会の個人一般質問通告一覧である。個人一般質問とは別に委員会代表質問があるが、総務文教委員会はなかったため、ここには載せていない。

個人一般質問で、全体でいうと21名、164項目あった。そのうち、教育委員会関係として11名、37項目の質問があった。

詳しくは資料2-2をご覧ください、答弁準備原稿を載せている。こちらが教育委員会に該当があった質問の答弁原稿として、ホチキス留めしてある。

最初の柳楽議員は、熱中症対策ということで、普通教室の空

調の話や通学時の熱中症予防対策のこと、それから不登校の支援について、不登校の子どもや保護者に対する相談体制等の質問があった。

佐々木豊治議員が 5 ページ目からである。

これは青少年サポートセンターの機能拡充ということで、相談業務が確保できるスペースがあるかどうか、スペースが狭いのではないかという趣旨である。それから、青少年サポートセンターを教育委員会が所管しているが、福祉との関係が強いので福祉部署に所管替えしてはどうかという質問である。

7 ページからは不登校対策ということで、状況や山びこ学級の件、提案として校内フリースクールのような居場所といったことについて質問があり、9 ページまで掲載している。

岡本議員が 10 ページ目からである。基本的に学校統合に関するところで、今までの学校統合に関して、地元の協議会などの要望とそれに対する回答がどのようなことがあったかということである。それから雲雀丘小学校と原井小学校が統合されるが、校舎等の跡地の利用についての質問である。

12 ページの西田議員だが、教職員住宅の空室状況とその活用についての質問である。過去にも同じような質問があったが、現状の説明をしたところである。

串崎委員が 13 ページからである。給食費の無償化ということで、浜田市の考え方について答弁を行った。昨年度、国の臨時交付金を使って無償化したところがあるというような事例をあげられた質問である。

15 ページ以降、22 ページまでは川上幾雄議員である。文化財について管理や活用が十分でなく、整理ができていないというような質問と、デジタル化、目録整理、図書館への展示の状況というようなところである。それから歴史文化保存展示施設計画の状況や浜田郷土資料館整備計画の現状について、あとは民俗芸能に関する計画というような質問があった。

上野議員は 23 ページからである。市内の高校入学生確保の取組やサン・ビレッジ浜田のスケート場を残して欲しいとの声に対してどうするのかというところである。

25 ページからは川神裕司議員である。石見神楽「ものづくり」文化財指定の課題について、なぜ進まないのかという質問である。

27 ページは大谷議員である。図書館の本について、背表紙の色が落ちていて、光の調節や管理が出来ていないという視点からの質問である。

28 ページから村木委員である。2030 年「島根かみあり国スポ・全スポ」についてということで、競技会場の整備・充実に関する事、それから組織体制の充実に関する事についての質問である。

続いて 32 ページからは村武議員だが、未就学児の育ちについてということで、幼児教育センターの取組、浜田幼稚園の園児等の様子、幼児通級教室の周知の件、幼保小の連携がスムーズに進むための取組というような質問である。それから学校の安全管理についてということで、窓からの転落事故やガラスによる事故の状況、学校内の安全管理についてというような内容の質問である。

それぞれの質問に対する市の考え方については、資料 2-2 に掲載している。

以上が、一般質問に関する説明である。

行事等予定表（資料 3）

資料 3 をご覧いただき、行事予定表である。期間は、6 月 28 日から 7 月 31 日である。右から 2 列目の丸印がついているところが、委員方に出席をお願いしているところである。

上から 4 行目から、7 月 5 日、6 日、7 日と学校訪問になっている。本日の会議が終わった後に出欠、それから集合して行くのか、現地集合か確認をさせていただく予定としている。

7 月 8 日、9 日が体操競技の島根県中学校総合体育大会である。

7 月 10 日の第 2 回浜田市総合教育会議であるが、終了が 12 時となっているが、12 時 30 分が正しい時間になるため、修正をお願いしたいと思う。今回は、美川小学校等での現地視察である。10 時 15 分が現地集合時間となっているため、よろしくお願いしたい。

7 月 13 日、第 14 回中国地区市町村教育委員会連合会研修会（出雲市）とあるが、こちらは連絡が事前に行っていると思うが、9 時 30 分に北分庁舎裏の駐車場に集合のため、お間違えの無いようお願いする。

岡田教育長

7月22日、23日が卓球の島根県中学校総合体育大会、7月23日から26日が島根県中学校優勝野球大会、7月27日が次回の教育委員会定例会で、会場は今日と同じ北分庁舎2階会議室1となっている。

資料3については以上である。

私の方から少し補足をさせていただこうと思う。

一般質問については、教育委員会に該当するものしか資料がないので、なかなか全体がどうだったのかわかりづらいが、いくつか補足したい。

9ページをご覧いただきたい。佐々木豊治議員から不登校対策として提案いただいたのは、校内フリースクールのような居場所である。岡崎市が行っている例が、通常学級のほかに、F組というクラスを作り、そこになかなか学校に行きにくくなっている子どもが授業意識をしないで集まり、それに定数の中で担任をあてて、その学級の運営をしているという事例であった。従って、通常学級のように授業を組んでやるというようなところではなく、フリースクールがひとつのクラスとして学校の中にあるということで、不登校の数が常に減っているという実績があると伺っている。

また、これに対して今本当に教員不足で、学校の中で担任が誰か持てるのかということになると、なかなか厳しい状況がある。ただ、この不登校対応については、教育委員会の長期の課題だと思っているため、何がしかの対応をしていかななくてはいけないとは思っていて、少し校長会等と話をしながら、聞いていくということで、答えさせていただいている。

それから、川上幾雄議員の質問の19ページに文化財の保護、管理のところで、実は図書館の中に、郷土資料ということで公開できていない古い資料や行政文書があるが、歴史や文化を研究している方からそれを公開して欲しいということは前々からあり、ただその目録作りや古文書の整理ができていないということがあった。

これは以前からも指摘を受けていて、このことについてはこの文章の下に書いてあるが、現在地域おこし協力隊の制度を活用して、その整理であるとか、あるいは図書館以外にも保存してあるが、支所も含め、そうしたものの整理や公開するためのデータベース化アップについては取り組んでいくということ

で、現在地域おこし協力隊 2 名応募があり、2 名とも採用するというので、手続きを進めさせていただいている。

それから、大谷学議員が 1 年前に、中央図書館の採光が強すぎて本が色褪せている状況や、あまり明る過ぎる図書館というのも逆に問題があるのではないかとということで、その日よけ対策ができないかということをおられる。

もともとこのコンセプトが明るい図書館でやっていて、このコンセプトを変えるべきではないというご意見や、ちょっと明るすぎるといった意見もいただいている。その間で一体どこがいい着地点になるのかということ、少し預かりとさせていただき対応しようということで、今研究をしている状況であるため、3 点私から補足をさせていただいた。

委員方から、ただいま教育部長から説明があった内容について質問等があればお願いします。いかがか。

行事予定についてもよろしいか。

特になし。

各委員

大坂館長

中央図書館・三隅図書館 開館 10 周年記念イベント (資料 4)

資料 4 をご覧いただきたい。三隅図書館が 5 月に、中央図書館が 8 月に、新館ができてから 10 周年を迎える。それに伴って今、図書館友の会を中心にして準備会から始まり、実行委員会が話し合いながら進めている。

8 月 11 日に中心となるイベントとして、村中李衣さんをお呼びして講演会を行おうと思っている。村中李衣さんはノートルダム清心女子大学児童学科の教授であり、児童文学作家でもある。病院に入院している子どもたちに対する読み聞かせであるとか、高齢者施設での読み聞かせであるとか、山口県に矯正施設のようなところがあるが、そこに行って女性受刑者と読みあいを進めるといったことをしておられる。今現在、浜田市の小学校で使用されている 4 年生の国語の教材の中に「走れ」という作品があるが、その作者でもある。最近で言うと、「あららのはたけ」という作品で坪田譲治文学賞を受賞される等、たくさんの賞を受賞されている。また、「チャーシューの月」という作品は以前、中学校の課題図書に、「かあさんのしっぽっぽ」は小学校低学年の課題図書になった。

それから講演会だけではもったいないということもあり、三

隅図書館も 10 周年を迎えることから、午前中に三隅図書館で読み聞かせの会をしていただいて、同日午後中央図書館で「読みあいで、やわらかなコミュニケーション」を演題として講演会をしていただこうと思っている。

ここには記載していないが、村中氏から、読み聞かせボランティアの方々と交流会をしてもいいと言ってくださっているため、前日の夕方、16 時から 17 時までのところで、しまね子ども読書等推進の会浜田支部の方、実際現場で読み聞かせをしていらっしゃる方々との交流会をして、またそこで助言をいただくようなことを考えているが、これは参加者が限定されるため、ポスター等での周知は行っていない。

11 日には、村中先生の講演会に加えて、あさひ訓練センターから来ていただき、盲導犬デモンストレーションを実施する。

また、移動図書館車のラブック号が新しくなったが、いつも郊外に出掛け、図書館になかなか来館しづらい方々の地域を回っている関係で、旧浜田市内の中心部の方はほとんどご存じないということで、午前中だけではあるが公開して、実際にこういうものが動いているということをご覧いただきたい。

それから、講演会中に子どもたちを集めて、高校生が企画、運営するワークショップみたいなものを行っていきたくて思い、今動いている。現在、浜田高校から 10 名、浜田商業高校から 3 名の生徒が、やってみたくて言ってくれている。ここに浜田高校の松野学校司書が関わって、子どもたちの相談に乗ってくださっているということである。

地域おこし協力隊による若者移住事業に係る業務内容の変更について（資料 5）

先ほど教育長からも話があったが、地域おこし協力隊の業務内容の変更についてである。資料 5 の裏面をご覧いただきたい。郷土資料整理業務について、地域おこし協力隊を 1 名お願いしようと思っていたが、2 名から応募があった。1 名は大学で非常勤講師をされていて、こういったことをまとめたりすることに精通している方である。もう 1 名は島根県立大学の卒業生で、学芸員の資格を持っておられる。古文書をしっかり読み解くことはまだできなかったが、浜田市の郷土や歴史について興味を広く深く関心を持っておられたため、その 2 名の方をそのまま

岡田教育長
岡山委員

大坂館長
岡山委員
岡田教育長
各委員

鳥居室長

採用して、先ほど申しあげた図書館の郷土資料、それから、できれば文化スポーツ課との関りを持ちながら活動を進めていただきたいと考えている。説明は以上である。

ただ今の2点について、委員方ご質問があるか。

高校生企画体験コーナーがあるということで、対象は小学生以下と書いてあるが、また小学校にはこれだけ内容がわかるものが、別のちらしが配布されるか。

別のもので宣伝することになっている。

承知した。

その他はよろしいか。

特になし。

第3回(6月)市校長会資料(資料6)

資料6をご覧いただき、校長会の資料である。

1番の要約学習について、四角囲みしているが、浜田市の児童生徒の学力調査から見えてきた課題として、「限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現する力」、この力が課題である。この課題に迫る一つの手立てとして要約学習があると考えている。昨年度末に学校訪問をして授業改善の話聞いたときに、松原小学校では一部の先生が要約学習に取り組んでいるという話を伺った。その時には、来年度は全校体制でされてはどうかと話をさせていただいた。

今年度になって、国語教育推進指定校の原井小学校にまたお願いしますということで伺った際に、授業も大切だけれども日々のところで要約学習に取り組んでみられてはどうかと提案をしたところ、原井小学校では全校挙げてやろうということで取り組まれている。現在のところ、2校が学校体制として要約学習に取り組んでいる。

要約学習というのは、中段のあたりに四角囲みしているが、そのちょっと上のところ、飯南町の元校長で現在飯南町教育委員の鳥田先生が熱心に広めておられる学習方法であるということ、校長先生方に紹介した。1ページ目に、鳥田先生が実際にされている授業のひとこまを紹介している。

2ページ目の右上にカラーで掲載しているが、これが、鳥田先生が公開している「要約学習の部屋」というホームページで

ある。ここには、小学校中学年、高学年、中学校というふうなことで、要約学習の教材が集まっている。この教材のところに入っていくと自分でも要約学習に取り組むことができるということで、いろんな可能性がある。朝の時間に一部分やってみて宿題に出すとか、いろんな方法があるだろうということで、校長先生方に紹介をさせていただいている。烏田先生からは、いくらでもこのホームページにアクセスしてどんどん使ってくださいという了解は得ている。

2番目の科学教室実施事業について、グラフを載せている。

昨年度末に3年生、今年科学教室を受けることになっている現在の4年生に、県の学力調査と同様な意識調査を実施した。その中の一部分だけを取り出しているが、グラフにしているのは、「理科が好き」と回答した児童生徒の状況である。肯定率が88%と高い。生活科から理科になって約1年学んできたところの理科好きの割合である。これが小学校6年生になると71.8%。中学校3年生になると69.4%。だんだん下がって理科好きが減っていく。科学教室はこういったところへの手立ても考えているということと、科学教室は1回であるため、日々の理科の授業を充実させてくださいということでご報告をさせていただいたものである。

次ページに、前回もお示しをした科学教室の日程を掲載している。現在、1番と2番が終了している。一人分ずつ実験の材料を準備され、一人一人が実験できる体制を取っていただいている。子どもたちが混乱なくできるよう細心の配慮をした準備であった。おかげで子どもたちも混乱なく実験に取り組み楽しんでた。驚きの声も上がり非常に上出来だったと思う。6月30日（金）には原井小学校と雲雀丘小学校で科学教室を実施する予定である。

最後に資料Bとして各学校長宛ての文書をつけているが、算数・数学アドバイザーの前田教授が、7月4日（火）と7月5日（水）に指定校の指導・助言と講義に来られる。

この指定校の授業が午後からであり、午前が空いているということで、指導を受けたい学校があるかと呼びかけを行った。その結果、7月4日は第三中学校、7月5日は指定校である長浜小学校が指導・助言を受けることになっている。その時の様子は、また推進室だより等で各学校にお知らせしたいと思う。

以上である。

岡田教育長

ただいまの説明についてご質問等があればお願いします。

私から1点聞いてみたい。既に小学校の科学教室を実施されたときの子どもの反応は聞いたが、取組をされた学校の先生や管理職の声はどうか。

鳥居室長

喜んでおられた。やはり子ども一人一人に同じように実験器具があって、グループではなく一人一人が体験できるのでというふうなことを言っておられたり、ある校長先生は、この事業は令和7年度までだと思うがぜひ続けていただきたいと言っておられた。

指導された講師の一人が、終わった後に子どもの感想を読まれ、子どもたちが非常に素直な感想を書いていたため非常に喜んでおられた。家でも準備をしていただいたり、科学教室を午前と午後でやっているため、お昼ご飯もそこそこに対応していただいたりしたが、ありがたく思っている。

岡田教育長
花田委員

ありがとうございます。委員方はいかがか。

今話を聞くと、それだけ準備が大変で、ここで単発でやるのであればそのように力をかけてやれるが、理科好きを育てるためには、毎日の理科が楽しいと思わないと、単発のイベントに参加しただけで楽しかったから理科が好き、ということではないと思う。毎日毎日、なんで、どうしてと思えるような授業を組み立てていただけて、自分たちでそれを解決していくとか、そういうことが楽しいと思うが、ここでモデル的に子どもたちにやられたと思うが、先生方を対象に、こんなふうに準備をすれば楽にできるとか、そんなに負担に思わずに、むしろ先生たちが楽しいと思ってやれるようなことの助言であるとか、先生たちに対する授業は考えておられないか。そちらがいいかもしれないと思ったが、いかがか。

鳥居室長

おっしゃるとおりで、科学教室というのは単なるきっかけにすぎない。結局、日々の授業がポイントである。資料につけているが、指導に系統性がある。何年生ではどんな力を育てることを中心に授業を組み立てていかないといけないかということも示しているし、各学校へも配布している。

それから、学校訪問、指導を年2回と指定しているが、その中の1回は算数か理科、生活、中学校は数学か理科、この中から選択してくださいとしており、理科について既に2校行って

いる。感想として、科学教室を受けられた先生は、やはり実験をきちんとやらないといけないと実感したということを書いておられた。事前準備が大変ではあるが、実験・観察のところをしっかりとやっていただくことを、今後も啓発していかないといけないと思っている。

岡田教育長

今年初めてこうしてやってみて、子どもたちの輝きを見られた先生が、じゃあそれを日々やるためにどうしようかといういろいろ悩まれると思う。その時に先生方を対象にした授業の一つの事例を示しながら、先生方に実践していただける何かハードルの低いものがないだろうかということも、専門家の先生に聞きながら、少しそういう機会を検討することもありだと思っている。今回は初年度であるため、その様子等を見ながら今後の拡充に向けて検討を進めていきたいと思っている。

杉野本委員

自分も松原小と三階小を見せていただいた。準備は大変だったと思うが、うまくわかるように連動したシールを色分けするようなことだとか、卵パックや醤油さしを使うなど、費用を抑えながらも一人一人が使えるようなもので、夏休みにちょっとやってみようというような意欲付けにつながっていくと感じた。そういった準備だとか、新聞紙で作ったごみ箱が置いてあるとか、細かい配慮がなされており、教員もすごく学ぶ機会が多いことがあるなと感じた。子どもたちの歓声が起こる場面が何度もあって、日々のものにつながっていくといいなと思うが、少なくとも高学年になるほど理科が面白くなるような、子どもたちにとって、自分で調べると面白いぞというような興味をそそるものになるといい。もう少しこれを見ていく必要があるなという気がしている。

岡田教育長

ありがとうございます。その他はいかがか。

花田委員

これは見学に行ってもいいのか。

岡田教育長

もちろん可能である。事前にお知らせいただければ、委員方が行かれることを学校へ伝えておく。

花田委員

どの学校が何年生かわかるか。

岡田教育長

基本的には4年生である。

倉本委員

要約学習のことであるが、現在の段階では、こういう学習の仕方があるということを広報した段階ですよという話だったと思う。要約学習はすごく大事なことだと思っており、アメリカでは小学校からずっとそれを積み重ねて、カリキュラムに入

っており、極めて論理的な思考ができる人間が育っているというふうに言われている。高校生を教えていて、何が足りないかという、その論理的な思考というものが非常に足りない。それは、そういう訓練をしていないというのがあり、高校生の受験の段階でそれを訓練するというと手遅れの場合もあるし、十分耐えられる生徒もいるが、できるだけ早いうちにそういうことを経験させるというのは非常に大事なことではないかと思っている。

原井小学校と松原小学校で研修会が行われたということだが、その時の先生方の反応等、聞き逃したかもしれないが何か聞いておられるか。

鳥居室長

研修会は学校を対象にやっており、原井小学校と松原小学校の先生が、要約学習はどのように学習を進めていくのかというのを、鳥田先生が実際に授業されるのを見ている。

倉本委員
鳥居室長

子どもを対象に授業をされているのか。

そうである。子どもを対象に授業をされて、それを見て先生方が学んでいくというかたちでやっているため、全ての学校の先生に研修会に来てくださいという案内はしていないが、参加されたそれぞれの学校の先生が、自分たちがやらないといけないので、一生懸命研修を受けておられる。

倉本委員

結構それを評価するのは非常に難しい。子どもたちが要約したものを、それをどういうふうに評価してやるかというのは非常に難しいところもあったりして、先生方もたぶん研修されること自体難しいだろうと思うが、ぜひ極めてもらいたいという気持ちである。

それからもう1点、浜田市内の学校で、小学校でも中学校でもいいが、いわゆるNIEという新聞を使った学習に取り組んでいるところはあるか。

鳥居室長

研究団体として取り組んでいる学校はない。ただ、山陰中央新報が開催している新聞コンクールというのがあり、そこに出品している学校は小学校で結構ある。

倉本委員

新聞を読んで、リード文から何が書いてあるか想像するとか、記事をまとめていくとリード文になっていくというような発想の仕方でまとめる力をまず最初にやってしまうようなことが大事だと思っており、将来的に結構大事になる力だろうと思うため、ぜひ進めていただきたいなと思っている。

岡田教育長
岡山委員

ありがとうございます。その他はいかがか。

科学教室を毎年されて、小学4年を対象にということだったが、先ほどの校長先生の話にもあったように、令和7年度までなのかという話が出るということは、継続的にやってほしいという思いを学校側は持っているのだろうと思うが、おそらくこのかたちのままだとずっと4年生だけが対象で、単発で科学教室が体験できるというかたちになっていくと思う。

地域の大人側としては、理科や算数に力を入れていますということを知らない人の方が多いと思うので、4年生対象だけではなく、例えば地域で小学1年生から6年生までを対象にした、難しい器具を使ったような、危険を伴うようなものでなくても、何か夏休みに理科的なことを体験しようというイベントが立ち上がると、もっと年齢層の低い段階から理科に親しもうとか、算数に親しもうとかいう心が出てくるのではないかなと思う。

ぜひ地域にも、今、浜田市は理科や算数に力を入れていて、何か協力して一緒に盛り上がりができないかと訴えかけをすると、ひょっとしたらそれが立ち上がってきたり、実はもう先進的にやっているところがあって、ここは既にやっているが他の地域ではどうかみたいなことが出てきたりするといいかかなと思う。以前から地域の力をというふうに教育委員会は言っていると思うので、そこを加味しながらやっていくということも一つの手ではないかなと思う。

岡田教育長

ありがとうございます。今日はまちづくり社会教育課長も来ているが、いかがか。

永田担当課長

地域でということろで、まちづくりセンターでも共育事業ということで、学校以外のところで学ぶ仕組みというか、そういったものはあるので、理科の実験というテーマでは今やってないが、そういったことが子どもたちの学びにつながるのであれば、まちづくりセンターに投げかけることは可能であると思う。ただ、まちづくりセンターとして地域にそういった実験をしてくれる人材がいるかどうか探してみるとか、そういうのをまちづくりセンターでするので教育委員会から講師を派遣しますよとか、そういう流れ等も少し研究してみる必要がある。

倉本委員

参考であるが、以前、石見公民館の時代に、浜田高校の教員がそこへ行って、地域で子どもを集めてもらって、実験教室を

鳥居室長

やったことがある。もっと大掛かりにやろうと思うと、島根県教育センターの出前講座でやってくれるため、そういうところで講師の派遣を十分対応してくれると思う。今の浜田商業高校の平野校長はこういうのが大好きであるため、依頼すればやってくれると思う。

実は金城町内の小学校 3 校は合同で科学教室を実施している。複式学級は 3、4 年生が対象であるが、雲城小学校は単式学級のため、予算上 3 年生は科学教室が実施できない。そのため平野校長に頼み込んで、3 年生は同日の午前中に、平野校長を講師としてやっておられる。

岡田教育長

またいろいろ研究を進めていただきたい。教育魅力化コンソーシアムも高校の活動と地域をつなげるものになっているし、いろんところでやはり方向感をみんなが同じにして取り組むことが大切だと思う。今すぐということではないかもしれないが、可能性については常にどこか留めておいていただいて、機会があればどこかでやっていただければいいかなと思う。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

永田担当課長

栗山英樹氏講演（追加資料）

追加資料の浜田市ひとつづくり特別講演会のご案内である。このたび実行委員会を立ち上げ、講師に元 WBC 日本代表監督の栗山英樹氏をお招きして、「人を育てる力」という演題で講演会を開催する。以前、浜田市出身のエキスパート指導者である清水雅治氏の講演会が開催されたが、その中で栗山氏を浜田市へ招へいするという提案があり、今回、栗山氏の講演会が実現した。

日時は 8 月 20 日（日）13 時から 15 時、会場は島根県立大学浜田キャンパス講堂である。参加費は無料で、定員は約 600 名となっている。申込多数の場合は抽選となっているが、抽選となった場合は浜田市民を優先するということである。

申込にあたっては、1 申込あたり 2 名までとなっており、申込先は、事務局となつていただいている山陰中央新報社である。申込方法は、ハガキ、FAX、メールに郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、申込先へ申し込んでいただきたい。広報はまだの折り込みちらしとして各戸配布しているが、受付

期間は7月3日（月）から7月28日（金）必着となっている。

ただし、天候やその他の要因により、延期または中止になる可能性があることをご了承いただきたい。

あわせて、本実行委員会は、浜田市をはじめ商工会議所、商工会、教育委員会、体育協会、校長会、PTA 联合会の方により組織している。また、オブザーバーとして清水雅治氏にも携わっていただいている。関係者の席の確保については、現在調整中である。決まり次第、委員方にもご案内したいが、一般席とは別になるため、ご家族の方も希望されるようであれば、先ほど申し上げた方法によりお申込みいただきたい。説明は以上である。

岡田教育長
各委員

委員方からご質問等があるか。
特になし。

4 その他

(1) その他

岡田教育長
日ノ原係長
岡田教育長

事務局からその他何かあるか。

特になし。

その他のところで、委員方からご報告やご質問があれば願います。

倉本委員

浜田城資料館で高校生が大変お世話になり、短い期間であれだけのものをよくまとめたなど感心している。あのような企画は今後も継続してやってほしいが、そのあたりの見込みはいかがか。

高校生が浜田の歴史について知って、それを教育長が言われたように誰かに伝えてくれて、それがまた広まっていくという、一人二人の世界だがそれを続けてやることが大事ではないかと思う。今回良い経験をしたので、また別の視点で歴史を考えていくということも良いことだなと思っている。担当の方は大変だと思うが、要望として、ぜひ続けていただきたい。

岡田教育長

本日担当課長は欠席しているが、事業の評価をしていただき、委員からそのような要望があったことは伝えておく。

次回定例会日程

定例会 7月27日（木）13時30分から 浜田市役所北分庁舎2階会議室1

次々回定例会日程

定例会 8月22日(火) 13時30分から 浜田市役所北分庁舎2階会議室1

14:34 終了